

■新大和市総合計画基本構想・基本計画骨子（案）に関する意見募集結果（概要）について

募集期間： 令和6年4月12日～令和6年5月17日

応募人数： 111人（177件）

応募者区分：

在住	在学	在勤	在活動者	在事業者	その他
98	1	3	1	1	7

応募者年代：

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
0	0	3	33	37	17	13	8	0

意見概要：

骨子（案）の該当箇所	件数	主な意見
骨子案全体	5件	・現状維持としか見えない。 ・何が言いたいのかわかりにくい。
将来都市像	8件	・わざわざ健幸都市に変える必要はないのではないか。 ・つながりを重点に考えるのは賛成である。 ・将来都市像に「みんな」という文言入ったことについて、包摂社会に触れるなど、わかりやすく解説すべき。
計画期間	0件	-
計画期間における人口推移	2件	・人口増加にしか言及されておらず不適切。人口構成の変化を解説することで、計画期間に備えるべきその後の「減少傾向」にも言及することができる。 ・「移動率」は「大和市の移動率」を参照しているので、「出生率」や「死亡率」も大和市のものを参照にするべきではないか。
土地利用の方向	14件	・北部、中部、南部が均等に発展していけるように取り組んでほしい。 ・周辺の市町村に比べ容積率が低く厚木基地の高度制限の課題を挙げ、高度利用について国に要望しているとのことから、要望と総合計画基本構想との整合が必要と考える。
財政運営の方向	4件	・10年という中長期的な構想を打ち出すなら将来的投資を考えた財政出動を行うという考え方のほうがよい。 ・財源の効率的な活用（狭く深く）を望む。
計画体系	6件	・7つの目標を達成すれば将来都市像が必ず実現できるという過不足ない因果関係は構築されていない。 ・将来都市像と整合を図るためにも、目標3、4、6に「みんなが～」という文言を加えたほうがいいのではないか。
目標1 (施策分野：健康づくり・健康増進、医療、スポーツ・運動、生涯学習、文化・芸術)	10件	・健康を掲げるのであれば、運動だけでなく、食に対しても取り組みを進めていくべき。 ・高齢者が増えていくなかで、生涯学習・生きがいつくりにもっと力を入れるべきである。
目標2 (施策分野：高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉、社会保険・公的扶助)	4件	・高齢者とこどもが一緒に過ごせるような施設があるとよいのではないか。 ・障がい者福祉にもっと支援が必要である。
目標3 (施策分野：こども・若者、学校教育)	25件	・計画における子育て支援の重要度を高めるべき。 ・子育て環境の向上や給付金の支給など、子育て支援を充実してほしい。
目標4 (施策分野：地域活動、市民活動、人権・男女共同参画、多文化共生、平和)	5件	・外国人労働者やそのこどもが、早く日本の社会に溶け込める様な仕組みが必要だと感じる。 ・世代を越えた交流の場を増やす取り組みが必要。
目標5 (施策分野：商工業、農業、イベント・観光)	13件	・企業・産業・会社誘致に力いれて欲しい。 ・大和駅周辺の商業の活性化をしてほしい。 ・大和市と言われた時にパッと思いつくイベントなどがあるとよい。
目標6 (施策分野：防災、生活安全、基地安全対策)	20件	・厚木基地の縮小、撤退を進めてほしい。 ・安全、安心に暮らしていける環境を実現してほしい。
目標7 (施策分野：環境保全、都市環境整備)	39件	・上瀬谷パーク（仮）への道路を整備してほしい。 ・道路の安全性を高めてほしい。 ・不法投棄の対策をしてほしい。
方針1 (開かれた市役所)	2件	・市民の意見を聞くことを心掛けてほしい。 ・市民が主体的に参画できるよう、わかりやすい情報発信が重要である。
方針2 (スピード感のある市役所)	5件	・分野横断的に、デジタルの活用を進めてほしい。 ・老朽化している市役所の移築。
方針3 (明るく楽しく誰もが活躍できる市役所)	0件	-
その他	15件	・政令指定都市を目指し、近隣市と合併する。 ・厚木基地の民間利用。
	合計	177件

◆新大和市総合計画基本構想・基本計画骨子(案)に関する意見の一覧

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
1	公共施設を維持・改修する経費が増加していく点について、大和市は市役所や保健福祉センターが明らかに老朽化している一方で必要性が低下した多数の公共施設が残っており、その維持・改修にも多くの費用がかかっていると思う。必要性が低下した施設についてはこの機会に一斉に廃止・縮減して、機能や利用者が集中する主要な施設・設備の維持・改修へ選択と集中を行い、今後10年超は技術やニーズの変化に対して十分な機能の確保を図る方向を示すべきである。	在勤	40歳代
2	中央林間在住です。北のまちの利便性、安全性と骨子にありますので、そちらの改善を強く求めます。 人の量、交通量がとても多いのにルールを守らない人が多すぎて毎日本当に危険を感じています。逆走や飛び出しをする自転車、飛び出す歩行者、交通量の多いオオゼキ前の通りに路駐する車などひどい状況です。利用者の意識も大切ですが、もう少し自然に安全が守られるような作りにしていただきたいです。また、駅と駅周辺に関して、利用者の多さとキャパシティが合っていないように感じますので、改善していただけたらと思います。	在住	20歳代
3	1、子育て支援 少子化対策の一環として、東京と同様の月5000円の018サポートと呼ばれる給付金や高校の授業料無償化などの議論を進めていただきたい。市として無理な場合は県で対応の方針も検討いただきたい。 2、街づくり 2、1、大和市に集客する仕組みの構築 海老名のビナウォークや、グランベリーパーク、ジアウトレット湘南平塚のような他の市から訪れたいような街づくりをしてほしい。泉の森など整備がされていない土地の有効活用や都市計画をし集客できる都市にして欲しい。 2、2、上瀬谷パーク(仮)への導線やイベント協賛など 大和市は立地的にも非常に近い位置にあるにも関わらず、246の渋滞や、行き来するのに便利な道がないのが不便である。スポーツセンターからの導線を検討していると思いますが、バスやホテル、駐車場など利用者にとって利便性の高い仕組みを一大プロジェクトとして進めてほしい。 2、3、政令指定都市への挑戦 座間、綾瀬、海老名と合併し、政令指定都市を目指して欲しい。これは選択肢の一つだが、予算が通しても単独の市では厳しいから無理などの理由から都市計画が進まないなどがあれば積極的に連携をとって進めてほしい。 2、4、厚木基地の対応 米軍基地の縮小、または撤退を進めてほしい。ずっと抱えている騒音問題など解決向かっておらず、騒音に対しても解決されないなど、生活空間の中に、基地がここにある意味を問正して欲しい。 2、5、子育てのその先の教育の場所 保育園や乳児への支援は充実しているものの、大人や高校、大学生と言った青年から大人が学べる教育の場がない。大学の誘致や、インターナショナルスクールの誘致など教養がある街作りを目指してほしい。	在住	40歳代
4	[子育て支援] 各自治体で少子高齢化が進展する中で、大和市でも先進的な子育て支援政策がどんどん拡充していくことを期待している。 [街の整備] 引地川沿いは基地と隣接しており、整備が難しいことは理解できる。境川沿いについては町田市側と比べて活気がないように感じる地域もあり(特に北側)、自然の利活用を含め整備計画を検討してほしい。 [その他] 裏道としてよく使われるような、道が細いが交通量が多い道路における歩道の整備。	在住	30歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
5	●原案 まちの構造を特徴づけている「3つの軸」と「3つのまち」を基本としたうえで、少子高齢化、大規模災害への備えなど様々な課題への対応や、周辺土地利用転換を考慮しながら都市機能の充実を図るとともに、市域全体の発展を促し、本市の持続可能性を高めていく。 □意見 →商業・業務機能や良質な中高層住宅など様々な都市機能が集まり、活力やにぎわいを生み出す軸とあるが、都市軸から離れた住宅地に住んでいる高齢者を都市軸に誘導し良好な低層住宅地とともに次世代へ引き継いでいくことについて、基本構想として具体的に示し、都市の活性化を図るまちづくりについて、よりイメージが掴みやすいように記載してはどうか。10年のビジョンを示す必要があるので、抽象的な表現となることはあるが人口を25万人としたいとする意向も踏まえると、より実現に向けた具体性を持った基本構想が必要です。基本計画に記載することも考えられますが、空き家対策も含め、子育てが終わった高齢者世帯の住居を売却し、駅近の中高層住宅へ居住誘導を図る等の具体的なビジョンが必要(東急電鉄の住みかえ促進の取組参照)。総合計画の基本構想を10年を期間としているので、基本計画5年・実施計画3年に基本構想の方向性を踏まえ、具体性をもって施策が実行されるよう記載を求めます。 ●原案 ・周辺土地利用転換を考慮しながら都市機能の充実を図る。 ・生産年齢人口の減少や公共施設の老朽化に伴う維持・更新の費用負担などの要素も考慮した内容とする。 □意見 →周辺土地利用転換を考慮しながらの都市機能充実については、大和駅周辺だけでなく中央林間・南林間・鶴間など駅周辺の容積率の見直しを行い、老朽化した中高層建築物やマンションの建て替えを誘導し、駅前の商業地区や隣接する用途地域等の高度利用を行う必要があり、公共施設の老朽化施設の建て替えを民間活力を用いて駅周辺の老朽化した中高層建築物と同時にを行うなど、商業・業務・市の機能や良質な中高層住宅など様々な都市機能を集積する必要がある。これらを実施することで、良好な低層住宅地を若い世代に引き継ぐことが可能となり、継続的な大和市の発展に繋がると考えます。また、国への要望書においては、周辺の市町村に比べ容積率が低く厚木基地の高度制限の課題を挙げ、高度利用について要望していることから、要望と総合計画基本構想との整合が必要と考えます。さらに、大和市議会の答弁においても、下記「まちづくりの方向性を見出す」の答弁があり、総合計画基本構想及び基本計画へ、この答弁の落とし込みが不足している。様々な事業者等と価値観の共有、対話をするとの答弁を達成するためには、総合計画に記載が無いと対話等の根拠が無いと考えます。 ○質問 容積率の見直しについてお聞きます。大和市の現在の容積率は、都市計画図によると、商業地域で最大で容積率400%となっています。大和市においては、この法定容積率に対する充足率は、かつて幾つかの地区における再開発計画を断念した経緯もあり、現状低いと思われます。しかしながら、近隣市の海老名市では500%、厚木市では600%の地区があります。大和市の経済活動を活性化するための手段として、容積率を見直し、再開発等の開発行為を促すことも重要と考えますが、市の考えをお聞かせください。 ●答弁 今後は、商業及び産業の振興、民間開発の誘導、各種法令による容積率の緩和や固定資産税の軽減措置など、地元関係団体や鉄道事業者を含む民間事業者と様々な視点や価値観を共有しながら、関係する方々との対話を通じてまちづくりの方向性を見だし、戦略的に大和駅周辺のまちづくりを進めていきたいと考えているところでございます。 ○質問 例えば大和駅周辺においては、航空法により海拔107メートルの高さ規制がかけられています。大和駅周辺は海拔62メートル前後なので、45メートルの建物しか建てられないことになっています。厚木飛行場が存在することによって、この高さ規制が大和市の経済活動を制限する一因とも言えます。しかしながら、令和3年に博多の天神1丁目が国家戦略特区として、80ヘクタールの地区を対象に航空法高さ制限が緩和されました。従来65メートルから67メートルだったものが 80メートルから96メートルになったのです。 ●答弁 私といたしましては、本市の魅力あるまちづくりを進めるためにも、この高さ制限の緩和について、様々な可能性や手法等を探りながら積極的に取り組んでまいります。	在住	40歳代
6	子どもが将来に希望を持って生きることに加えて、子どもを持つ選択肢を選ぶことにも希望を持てるようにしてほしい。	在住	30歳代
7	環境保全のために、どこにどんな生物がいるのか調査する必要があると思います。貴重な生物が生息しているなら保全の工夫を。 また、外来種やノネコ、野良猫を減らすもしくはゼロにする対策を考えていただきたいと思います。この件に関しましては専門家の意見を仰いだほうが良いかと存じます。	在住	30歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
8	6. 計画の体系について 将来都市実現に向けた目標及び目標達成に向けた施策分野が必要十分なものとなっているか 庁内で確認するために、ロジックモデルは作成しているか？作成している場合は開示いただきたい。作成していない場合はその理由を開示いただきたい。	その他	40歳代
9	6. 計画の体系について 将来都市像に向けた目標及び施策分野において、「こども」という表記が使われているが、これは誰を指しているのかが分からない。「こども」「子」「若者」という表記それぞれについて、乳幼児期・学童期・思春期・青年期・ポスト青年期のどこからどこまでを指しているのかを明示すべきだ。	その他	40歳代
10	6. 計画の体系について 将来都市像を実現するために必要十分な目標が本当にこの7点なのか？だとすれば、7点それぞれを実現するための施策分野に全く重複がないのはなぜか？実際には、7つの目標を達成すれば将来都市像が必ず実現できるという過不足ない因果関係は構築されておらず、執行部の全セクションを当てはめただけではないのか？つまり、計画の体系は左から右へ分解していくのがセオリーであるのに、実際は右から左へ構築したのではないのか？このような計画の策定手法を採ると、一見アウトプットは整然と見えるが、実際には執行部が推進しやすいだけで市民の満足度にはつながらない。執行部は改善と思ってやっていることだと思うが、市民から見れば改悪である。	その他	40歳代
11	6. 計画の体系について 将来都市像実現に向けた目標「3. こどもが将来に希望を持って～」に「全ての」という文言を入れるべきではないか。「4. ～多様性を認め合うまち」に「あらゆる」という文言を入れるべきではないか。「6. 安心して暮らせる～」に「みんなが」という文言を入れるべきではないか？「1. いつまでもみんなが～」「2. みんなが支え合う～」には「みんなが」という文言が入っており、将来都市像と整合性がとれているのに対し、3・4・6は整合性がとれていない。	その他	40歳代
12	3. 計画期間における人口推移について 「増加傾向」という人口の量にしか言及されておらず、解説として極めて不適切だ。人口の質がどう変容するのかを解説することで、計画期間に備えるべきその後の「減少傾向」にも言及することができるはずだ。例えば、年代ごと・地域ごと・性別ごとなど、多面的な分析をする必要がある。	その他	40歳代
13	1. 将来都市像について 将来都市像に「みんな」という文言が入ったことは評価できる。しかし説明文にはその解説がない。例えば包摂社会の実現に言及するなど、分かりやすく解説すべきだ。	その他	40歳代
14	子育て支援 ・妊婦健診補助金の増加 ・子供の扶養控除分の補助 ・保育士・幼稚園教諭の待遇向上 インフラの整備 ・暗所道路への街灯設置 暗い道が多く、子供や高齢者の帰り道が危ないです、明るい道で明るい街に。 ・4m未満の道路の拡張/歩道設置 住宅街になるほど道幅が狭く、歩行者と車が接触が怖いです。子供と安心して歩けるように歩道を設置して交通安全な街に。 ・ホームドアの設置 小田急線はホームドアがないので怖いです。JRや東京メトロなどはホームドア設置が当たり前となっており、遅れてしまっている印象があります。人身事故も減らせるので設置は急務です。	在住	30歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
15	3.計画期間における人口推移について 「出生率」と「生残率」は、「日本の将来推計人口」を参照しているが、「移動率」は「大和市の移動率」を参照しているため、すべて大和市のデータに基づいたものに統一すべきではないかと考える。また、「24万人台後半での増加傾向が続き、25万人に近づくと見込む。」とあるが、そのほとんどが「移動率」から出た増加にあるため、「将来都市像」が「みんながつながる健康都市やまと」であるならば、現在大和市にいる住民のつながりをより強くするためにも「出生率」と「生残率」が上げる政策をすべきである。現に、「移動率」が増えたことにより、自治会などの町で運営するものに参加したくないという住民が増え、運営自体がなくなることや、トラブルが起きている地域もある。つながりを大切にするのであれば、現段階での住民の住みやすさをあげるようデータ元を見直す必要があると考える。 4.土地利用の方向について 「3つの軸」と「3つのまち」を基本にするのは問題ないが、それぞれの移動手段が限られているため、持続可能を高めるためには、もう一工夫必要であると考え。例えば、「南の町」から「北の町」に行くための手段が現段階では、電車しかない。市営バスなどもあるが、「3つのまち」内か、「北のまち」であれば「中央のまち」に行くものしかないため、乗り換えが必要になってくる。少子高齢化が進む中で、年配者は電車での移動が難しいという人が増えて行くであろうし、バスの乗り換えも難しいと考える人も増えていくであろう。どこにいても、市内を移動できるようにすれば、「土地利用の方向」も変えていけるのでは無いかと考える。	在住	20歳代
16	子どもに関する内容としての意見です。共働き世帯の増加、少子高齢化に伴い、登下校の見守りが困難になると思います。現状でも難しい中でも対応している家庭も多い。そんな中で、子どもにPASMOやGPSを配布し、学校でタッチする等、通過機能を持たせれば登校班不要、見守り減等につながるのではないのでしょうか。都内では個別登校も普通ですが、大和市では変わらず昔の大勢です。 次に、小学一年生の黄色帽子は一種類になったのは、ジェンダーなどの理由でしょうか。もう少しお金をかけて、男女問わず被りやすいデザインに変えて欲しいです。リボンいらないと考えます。 さらに、給食についてです。食事内容が残念です。彩もよくないですし、昔と変わらない内容です。食育にはつながらないのではないのでしょうか。配送という理由なども、あるでしょうがもう少し今の時代に合った見た目、内容にしても良いのでは。例えば牛乳だけではなく、ヨーグルト、ジョアなど提供する。等いくらでもあるはずですが。予算も含めぜひ改善をお願いしたいです。これからも住みやすい大和市に期待します。	在住	30歳代
17	「新大和市総合計画基本構想・基本計画骨子(案)及び考え方」資料3ページ目「4.土地利用の方向 ふるさと軸(都市軸)」にある森の活用について、西側のふるさと軸上には東側と比較し、森と定義する箇所が少ないため、市民の憩いの場として公有財産とした森の公共整備を進めることが良いと考えます。	在住	40歳代
18	大和市には大きい駐車場がない。	在住	50歳代
19	文章の書き方の問題だと思うが何が言いたいのか、何がしたいのかが伝わらない。	在住	40歳代
20	限られた財政の中で、難しいと思います。少子化対策として、子育て支援の充実。高齢者もいきいきと健康で暮らしていける環境。性的招集者や外国にゆかりのある市民でも、差別や偏見のない町。そして何よりも、安全で安心に暮らしていける環境を実現して欲しい。今まで、箱物を多く作ってきたので、これからの施設を上手に運用できるノウハウを集積する。そして、できれば郷土史料のスペースをその施設の中で作って欲しい。	在住	60歳代
21	家賃が高過ぎます、これから住める所はあるのか不安です。補助や、UR等を増やして欲しいし、何か対策お願いしたいです。	在住	50歳代
22	具体的に骨子の説明と進捗状況がスマホ等で確認が出来る様に。	在住	70歳代
23	大和駅周辺をもっと商業施設や日用品店舗を増やして、商業を活発にして欲しい。	在住	30歳代
24	健康都市大和市なので、老若男女が揃うゆりの森にプールを作ったらいいと思う。人を集めるためにもイベントやフリーマーケットなど集客を狙ったことをするといいと思う。	在住	30歳代
25	土地活用に関して、大和市にはボーイスカウトの団が4団、ガールスカウトを含めると5団あります。しかし、残念ながら自団の基地がありません。市街地ということもあり、なかなか困難なのですが、引地台にある市民プールの奥、米軍基地側に使われていないアスレチックの公園がありますが、そこをボーイスカウトに有効活用させてもらえないでしょうか？草取りなどの環境管理は勿論、ボーイスカウト活動での火の扱いなどは得意分野なので問題は発生することはありません。よろしくご検討お願い申し上げます。	在住	60歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
26	3つの地域の大きな開発をお願いします。 小さな利便性で政策をやってる感をださないで、街開発、商業の発展を民間と共に大きく行ってほしい。在住している中央林間駅周辺は、テナントの敷地が狭くすべての店舗規模が中途半端で品揃え、利便性共に中途半端です。住む人だけが増えても、他市に買い物、お金を落とすのであれば、人口増でも市の規模は大きくなりません。市内の縦の地形を活かしつつ、市内どこで住んでも3つの地域にお金を落とす仕組み、便利で安価なインフラ(交通、電車を含む)を整えてください。	在住	40歳代
27	今の大和市の箱モノは、小さな子のいる世代には充実しているものの、小学校や中学校に進学した子や、その親世代には物足りない。海老名駅の商業施設内にあるような、本屋とスターバックスが共存する施設が大和市にも欲しい。また、年の差兄弟がいると家庭で勉強に集中出来ないの、中学生や高校生が勉強に集中できるような施設(自習室のような)が南林間あたりにあるとありがたい。	在住	40歳代
28	最後の5ページに具体策が書いてあるのかと思ったら、ぼんやり漠然としたことしか書かれてなくて具体的に何がしたいのか全くわからなかった。 市民は給与が増え経済的にもっと豊かになれば勝手に幸せになります。全市民が喜ぶことはシンプルに市民税を下げることだと思います。	在住	40歳代
29	箱物建設に注力するのではなく、市民の暮らしの向上に繋がるメリハリをつけた対応をするともに、市民の意見を聞くことを心掛けてほしい。	在住	60歳代
30	歩ける街に共感します。 2024年2月に引っ越しましたが、体育館とシリウスなど恵まれた中央に住むことができています。その上で散歩で泉の森といった場所に行くこともできています。 東西の川を中心とした環境保全についても素晴らしいと思っています。 そこで意見です。歩けるとありますが、引っ越してきて1番に感じるのは交通量の多さです。道によっては自転車と歩道が分かれている箇所もありますが、全体的に子供の視点高齢者の視点に立つと、歩行者視点で不便を感じる箇所がいくつかあります。車は歩行者優先される文化が醸成されていると感じ、とても危険だなと思う場面をただ遭遇します。もちろん車が必要なエリアなことは重々理解(データで知りたいし、意思決定をしてほしいですが)した上での意見です。 具体的には、高齢者の方が横断歩道で走らなければいけない状況を見かけたり、子供たちは集団登校でない限りは、横断時の歩き方に不都合を感じているような動き方を見かけます。私自身としては、散歩をしていて、この場所を歩くのは危険だなあと言う思いをしながら、車を背に受けつつ歩くことがあります。特に大和の体育館周りについては不便を感じています。全速力の自転車に後ろからぶつかられそうな経験も一度しました。 健康促進が大事で、100年時代において必要だと思っていますが、日本の国土の状況及び都市設計の視点から考えても、歩けるゾーンというのがとても限られているように感じます。10年先を見据えてのであれば、大和市には歩ける街づくりを強調していただけると嬉しく思います。 例えば公園や河川敷の整備を基本としつつ、常に安全なルートで歩けるエリアを東西に配置できる道があるとか、やまとんの東西の横断での回避策の検討をお願いしたいです。人のつながりが大事であれば歩くことを基本として、地域交流が生まれると思います。ボランティアや環境保全に歩きをテーマにいただけると嬉しく思います。	在住	40歳代
31	日本全国的に少子高齢化を受けて労働力不足分を補う外国人労働者に頼らざるを得ません。福田に於いても工事現場での外国人の交通整理を見かけるようになりました。今後は家族帯同も増えるでしょう。その時に外国人にとって魅力的な施策を採らなければ来てくれません。繋がりには日本人のみの話ではなく外国人も含めて必要でしょう。特に彼らの子供たちは将来の日本の国力向上に寄与し文化交流の重要な存在となるでしょうしそうならわねばなりません。早く日本の社会に溶け込める様に日本語教室を無料で開設し語学トレーニングしてから地元の学校に送り込むとかの仕組みが必要だと感じます。私が米国に赴任した時にはその地域でESL(English as Second Language)教育に取り組んでおり子供も早く地域に溶け込む事ができとても助かりました。しかし上記の構想、計画にはその観点が全く感じられません。項目4の4に多文化共生というのがありますがそれだけです。要は外国人も含めた一体感を醸し出す施策が必要だと思います。単にお祭りに一緒に参加するという話ではなく、言葉が出来て標準的スキルがあれば同一労働同一賃金が基本だと思います。日本語の読み書きが出来るようになれば更なる出世も可能となる社会を目指すべきです。それはより高い専門性を持った外国人を引き付ける要素になるでしょう。	在住	70歳代
32	もっと街全体のバリアフリーを進めるべき。 飲食店等のバリアフリー状況をネットでわかるようにできないのか？	在住	50歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
33	○学歴や年齢に関係なく、それぞれの職種に必要な就職が出来たらいいと思います。同年齢の人々が同じ能力のわけではないですし、転職しやすくする事で個人がより、様々な経験と実績を育み、経営者側もより良い人材育成と確保に繋がっていくと思います。 ○学歴に関しても、資産に関係なく対等に学び競い合える環境を作る事が、より優れた能力を育む事が出来ると思います。全てのジャンルの教育(芸術、スポーツも含めて)にお金がかかるために、たとえ才能があったとしても、資産がないがためにつぶされていく才能がたくさんあるかもしれません。株ではなく人に投資をし、様々なジャンルで様々な優秀な個人を育て、得意な事は支え、苦手な事は助けてもらう、そんな社会になればと思います。 ○AIの急速な進歩と同様に人の進歩が望まれるのは当然です。進歩すると言う事は人もアップデートし続けるという事ではないでしょうか？ただ昔からの伝統だからという理由だけで続けている事が多々ある様に思います。もちろん伝統工芸や、これからも受け継いだ方が良い事も多々あると思います。しかし、改善や改革をする事があまり行われていない様に思います。憲法9条に基づく平和思考は、世界中の多くの人々から尊敬される、唯一の日本の誇れる宝だと思います。この事はこれからもずっと永遠に引き継いで欲しいと願っています。 ○教育についてですが、AIの進歩に伴い働き方も急速に変化していくと考えられています。教育に関してもAIを活用する事によって必要のない、テストの点を獲得するための暗記は、多大な時間を要する割にテストが終わったら忘れるという様な事が多々ある様に思います。その様な事の為に多大な時間を使ってしまうのは、とてももったいなく感じます。確かに暗記する能力は生きる事にとっても重要な能力だと思っています。しかし、AIを活用しつつ無駄な暗記をなくしAIには出来ない発想を強化するための学びの時間を増やして欲しいと思います。 ○治安に関してですが、取り締まりを強化する事だけが平和を維持する方法とは思っていません。安定した生活の確保が出来ていれば著しく治安が悪化する事はないのではないかと考えています。金銭問題による影響が圧倒的に多いと思うからです。 ○いくつかPTA役員の活動に参加して感じた事があります。その活動のほとんどが、保護者ではなくても出来る仕事だと思いました。働きたくても働けないシルバーさん達の働く場所としてPTA活動をして頂く事で、シルバーさん達の人との繋がりや収入の確保と保護者様達の時間の確保が得られ、まさにwin win なのではないでしょうか？ ○都市開発について。近年、駅周辺やショッピングモールなどの開発が進んでいますが、レストラン、ショッピングモールや駅ビル内の店舗の殆どが大型チェーン店です。したがって、どこの地域に行ってもあまり違いが感じられません。その場所にしかない物があるからこそ、それを求めて人がやってくるのではないのでしょうか？もし開発を行うのであれば、ここにしかない、オリジナリティーを第一に行って頂ければ、魅力的な街と生まれ変われると思います。この様に一般市民の意見を伝える場を作って頂き、心から感謝しています。	在住	40歳代
34	全体的に了解する	在住	70歳代
35	骨子案読みましたが、体系化はわかり易いと思いましたが、特にどこに重点をおいているのか、各体系の具体的な方向性やイメージが掴めない為、もう少し具体化した物を公開して欲しいなと思います。福祉、子育てや施設などの環境面では、他と比較しても充実して来ているなあとという実感がありますが、大和市の魅力と言われると、パッと思いつかないですし、例えば、イベントや文化、祭り、特産物、街の賑わいなどで何かしらの大和市ならではの魅力が欲しいなと思いました。こちらも例えばですが調布市に住んでいた時は、音楽やラグビー、高円寺に住んでいた時は、阿波踊りなど、パッと思いつくような文化やスポーツなどのイメージを市民が意識できているっていうのはすごいなと思います。	在住	40歳代
36	・全体的な健康や繋がりについては良い案だと思う。しかし若い人が意欲的に活動出来る感じがしない。 ・文言について「幸せな状態」の記載があるが二言目に否定する文章があり「幸せは人それぞれ」と言うならば載せるべきでは無いと思う。 ・財政・市役所について 街の整備などに必要不可欠ではあると思いますが、まずは見直しをしていただきたい。生活保護や母子手当等様々な支出がある中不正に受給していた人達が沢山いるのではないのでしょうか？実際、市役所に対し「不正では無いのか？」との問いに答えも出さない等。確かに時間外の調査になる事は分かっていますが(不正受給者が役所職員の時間外にしか現れないので)。 他にも不満はありますが、この様に自分は「幸せ」という事が成立しないのでは無いのでしょうか？ 文章で書くのは不慣れな為、読みにくい、今回の意見にそぐわない等あると思いますが、健康促進・維持などの為に開発・整備する事は良いと思います。	在住	40歳代
37	中央の森とあるが、どのような整備を実施するのか示して欲しい。今はただの不法投棄場所になっているから。 南部の高座渋谷付近を整備するのか？桜ヶ丘の再整備をお願いしたい。商店街が実質ない状態で、全く活気がない。	在住	50歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
38	大和市は電灯が少なすぎ。イオンとヨーカどうの間の道のヨーカ堂側は真っ暗。電灯があってもここ数年ついてない。犯罪がおきるのも灯と関係あると思うので是非電灯をつけてください。 もう一つは認知症について市民の理解を深めて欲しい。	在住	60歳代
39	骨子は全体的に賛同できるものでした。個別具体的な計画とその実行に落としこんでいくときに、多くの市民が主体的に参加するしかけがあるといい。その中でも広報活動は大切だと思います。市役所の配布物を明瞭簡潔にして、わかりやすく、よみやすくすることにより知る機会が増えて個々人が積極的になるチャンスが増えると思います。広報が活性化するには市民の声をとり入れる柔軟さも不可欠だと思ってます。双方向のコミュニケーションです。	在住	50歳代
40	健幸都市やまと、とても良い響きだと思うのですが、どこよりも早く、ワクチンや医療の補助、健診の充実など、率先して健康を意識した取組が大和市は本当に良かったのに、薄れすぎではないか、と思う。健康に対しての取組みが急速に希薄になってしまい、とても残念。市長の交代が良い方向に働けばと思ったが、自治会の方向性も、おじいさんのやりたい放題になり、健康に向けての取組みも薄くなってきて、とても残念。带状疱疹ワクチンの補助が大和はどこよりも早くくと期待していたが、まさかの綾瀬市にまでぬかれる始末。テレビでやるほど、早くてスマートですごく良い取組みだったのに、こんなに後手後手になり、周りに抜かれてもなお、带状疱疹ワクチンの補助すらないとは。高齢化社会の中、今までになく健康への意識の取組みが希薄になってきて驚く。市長交代で見えなくなったのか、誰か言う人はいないのか、良いところが消えていくのは本当に残念。それが骨子からごっそり抜かれている。怖い…	在住	50歳代
41	骨子の対象は各方面を網羅し良く整理された印象。ただ各項目の詳細が問題なので、そこまで示せると良かった。	在住	50歳代
42	鶴間駅踏切先の横断歩道に信号機の設置して欲しい。車も歩行者も危険である。	在住	50歳代
43	子育てのしやすさについても取り入れてほしいです。	在住	30歳代
44	戸建を建てたいと思っているので、整備された土地を多く解放して欲しい。	在住	30歳代
45	子育ても、高齢者の健康・福祉も、町の繁栄があつてこそ。土地活用に積極的に重点おき、企業・産業・会社誘致に力いれて欲しい。それが飲食店、雇用、住人、税収に繋がり、街として活気づく。人が永く住む街にしていくには、活気！	在住	70歳代
46	健康を題材にするなら ・運動だけでなく食に対しても提案が必要では無いかと考えます ・身体を作るには材料と運動は不可欠では無いか ・食べた物が血肉になり健康な肉体を作るのでは ・年齢に関係無く健康はこれからの課題で予防医学からも健康を準備する事は人に迷惑を掛けない人生を遅れると考えます ・精神的にも良い食事をし運動をし良く寝る事でストレスの無い人生を手に入れる事が出来る と考えます ※相鉄沿線側も計画を考えて欲しいです	在住	60歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
47	「3つの軸」より外れるつきみ野駅周辺、相模大塚駅周辺も「やまと軸」に含めてほしい。 特に在所のつきみ野は、つきみ野学習センターやつる舞の里、下鶴間ふるさと館、1号公園などがあるが、これらと商業施設に関連性はなく、道路事情も良くない(大きな市場の近くは大変渋滞し、また、道が複雑で渋滞や事故が起こりやすい)。地理的には中央林間駅と南町田駅に挟まれていて、ベッドタウン化しているため、ひたくりなどがすぐ電車に乗って逃げられる土地と言われている。東京に出る人口が多く、小学校はいくら教室を増やしても足りない状況がずっと続いている。 近い未来、今まで東京に勤務していて定年を迎えた者が増加するであろうけれども、その受け皿となる生涯学習施設は、つきみ野学習センターしかない。こちらは規模が小さく、会議室等が少ない(各自治会によるコミュニティセンターなどはあるが、学習センターとは系列が異なる)(シリウスに置かれている国会図書館に繋がる端末も、つきみ野学習センター図書室には皆無である)。近隣の中央林間の図書館分室には会議室はなく、ポラリスはスポーツと幼児向けである。また、ポラリスの会議室は料金が高く、部屋数も少ない。大和市が空いているギャラリーや会議室を中高生等に開放して勉強室にしているのは大変素晴らしいけれども、例えばつきみ野学習センターでは毎日あちこちの会議室を持ち回りで自習室に開放するようになったが、あらかじめ日程が公開されていて、その日をサークル活動に使うのは難しくなる。ギャラリーは利用を申し込めば自習室を閉鎖することになるのが現状なので、申し込むのに気持ち的にハードルが生まれてもいる。現在はダンスや体操、将棋や生花のようなサークル向けの会議室はつきみ野学習センターが担当していると思うが、これら以外への対応もできる施設を用意してほしい。例えば、工芸や美術関連のサークル活動ができるところが欲しい(これは、シリウスの612会議室も配管が細く対応していないので、対応できていない)。引地台中学校に学校開放の一端で陶芸窯があるが、つきみ野地区にも欲しい。中央林間小学校にあった手回しろくろが撤収されたと聞いている。つまり、工芸や美術関連のサークルに対応する力は、現在昨年度より減衰してしまっていることを忘れないでほしい。陶芸も絵画も高齢者でも行えるものであるので、今後の受け皿として、積極的に考えてもらいたい。 このように、つきみ野駅周辺には生涯学習施設も不十分であるし、人口数を考えれば商業施設や道の整備も必要であろう。つきみ野駅周辺を放置しないよう「やまと軸」に含めて、大和市としての再開発計画に含めて欲しいと考えている。	在住	60歳代
48	市民が増えることは良いことだと思いますが、小学校や中学校での生徒数が多すぎて、小学校に関しては校舎を増やすためにプールが無くなったり、老朽化によりプールの授業がこれから無くなる小学校もあります。どんどんマンションが増えて子どもたちが増える一方、学校側も大変なのでは…。どんどん増やすのではなく、なにか対策案考えないと、子どもたちが可哀想です。少なくとも、つきみ野中学校の9クラスや8クラスは多すぎです。近隣小学校も年々増額傾向。小学校や中学校それぞれ1校ずつでも増やすべきでは？	在住	30歳代
49	中央林間自然の森の整備を希望します。相模原市の東林ふれあいの森と隣接していますが、利用者としては一体となった森です。行政の枠を超えて調和の取れた道や区画を検討してほしい。大和市側は行き止まりもあります。また、線路を挟んで西側の住人は森に来るのに遠回りになるため、陸橋などがあれば、もっと気軽に利用してもらえるのではないのでしょうか。	在住	50歳代
50	・南部地区の開発推進、市街化調整区域の見直し ・下和田の田んぼを災害対応型の公園に転換整備 ・厚木基地の民間利用促進 ・大和駅前公園の設置見直し、商業施設への転換	在事業者	70歳代
51	10年先まで住み良い町づくりにしていきたいと思いますので協力していきたい。	在住	70歳代
52	日本全体の現状として、団塊世代が75歳以上、団塊ジュニアが50歳前後、女性の約半分が50歳以上という少子高齢化がとまらない現実です。数年後は団塊世代の他死社会へとさらに人口減少します。若年層人口も減少予測で地域行政も企業も知恵をしなければ生き残り厳しくなりそうです。ファミリー層や若年層を取り込む魅力的な街、地域に変化し、それを広く認知してもらうことが重要です。最近の大和周辺は、公園が整備されたりシリウスもあり変わりつつありますが、まだまだ昔のイメージが根強いです。幼稚園、保育園、学校の个性的グローバルな教育やスポーツが気楽に行えて、かつ、専門的な技術を得られる施設があると他地域からの人の出入りも活発になり大和のイメージも変わっていくと思われます。大和駅は、特急の停車駅ですし、横浜駅や渋谷都内方面、町田、八王子方面と移動便利。利便性や住宅不動産価格がお買い得な要素アピールポイントあります。瀬谷の開発が成功すると人の出入り増加予測出来ます。少子高齢化の人口減少には、コンパクトシティ構想となるでしょう。	在住	50歳代
53	特になし	在勤	30歳代
54	南地域に住んでいます。高座渋谷は綺麗な街に変わり小さい子どもがいる世帯も増えました。しかし街に活気がなく駅の複合ビルも病院ばかりでまるで上の方は空いてしまっていて勿体ない、、他の場所から来てもらえるような施設を作ってもらいたい。	在学	40歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
55	空き地ができるとアパートやマンションばかり建設されますが人ばかり集めないで欲しい。保育園はたくさんできるがその先の小学校、中学校はすでにパンク状態です。一クラスあたりも30人以上いてきめ細やかな指導からかけ離れています。住民が増えれば住民税も増える為増収になりますが、子どもが遊んでいた広場を潰してマンション建設…。財政が潤いさえすれば良いと感じざるを得ないです。	在住	40歳代
56	子供と暮らしやすい街に シリウスや駅の近く公園など充実しているが、行くまでが遠い。行くまでに、タバコのポイ捨てや、車や自転車などの交通量の多さが、気になってしまいます。ベビーカーで行くまでが大変です。抱っこ紐で行くにも一苦労。車があれば大変助かります。 ・ポイ捨て無い ・行きやすい施設が多い ・道を広く ・子育て世代にタクシー券	在住	30歳代
57	具体的な点がわかりにくい。 これから高齢者が増えていく中で、生涯学習・生きがいづくりにもう少し力を入れるべきではないか。現在、生涯学習センター、コミュニティセンターなどで活動されているご高齢者の話をうかがうと、「規則、規則で活動が制限されてしまう」とのこと。私自身、長年市民の生涯学習のお手伝いをさせていただいているが、非営利の活動にもかかわらず学習センターからこの活動を完全否定されてしまった。市民のみなさまからも不満の声が上がっている。生涯学習の場として、学習センターを運営すべきは市であって、指定管理者に任せるべきではない(指定管理者が規則を盾にして傲慢である)。いま一度、ご高齢者の視点にたって、具体的な案を提示していただきたい。	在住	60歳代
58	マンションが増え、横の繋がりが希薄になり世代を越えた交流の場を増やす取り組みが必要だと思う。 市内に点在する雑木林を綺麗にしてゴミを捨てない環境に整備してほしい。	在住	60歳代
59	南部在住です。 北・中央・南の3つのまちとして、それぞれ方向性を定めるのはとても良いと思いますが、行政・支援・施設等、北部に集中していることが多く感じられます。中央に配置されている施設も結局は北部寄りです。様々な面において南部の利便性があまりにも低く、高座渋谷を軸に…と謳っていますが、高座渋谷に一体何があるのでしょうか。。最寄りが高座渋谷ですが、便利だと感じたことはほぼありません。3つに分けて北部に集中させるなら、南北2つに分けて対になるようにそれぞれに配置して欲しいです。北部の人口が多いので仕方がない部分はありますが、北部ばかり充実させたら余計に南部に人が来ることはありません。もう少し均等に計画していただきたいです。	在住	40歳代
60	泉の森などの自然と、低層住宅地の素晴らしい環境を次世代につなげるという考えに賛同します！どうか、素晴らしい自然をずっと受け継いでほしいです。 福祉に関して、高齢者福祉と、こどもの福祉の充実を一緒に目指せる施設があるといいのですが。高齢者はこどもと過ごして元気になり、こどもは高齢者との触れ合いで、多くを学びとることができるかと。全国的には、そういった施設もあるようなので、ぜひ大和市にも作っていただけたら、そこで働きたいです。	在住	40歳代
61	全体像としては非常に良いと思う。 ・現状では北部の開発が目に見えて南部の環境はあまりいいとは言えない。(桜ヶ丘在住。)結婚して実家(世田谷区)から越してきてあまりの街の貧弱さに愕然としたのを覚えています。南部では藤沢街道でさえ、歩道の道が悪く、子育てには厳しい環境でした。 ・子育て環境においては、公園はあってもぼーる遊びや自転車禁止。ルールをもっと緩和して、大人がおおらかに見守りながらいろんなことが体験できるようなまちづくりをしてほしい。 ・大和駅の商業施設をもっと新しく活気街てほしい。人が集まるようなカフェやショップ等もどんどんふやして目的地になるような街になってほしい。	在住	40歳代
62	何がどうつながってるのかさっぱりわかりません。なんでつながり＝幸せなのかもわかりません。いままでとなにかかわるんでしょうか？〇〇なまち、やまと！と言いたいだけに感じます。ゴミ分別不要にしてもらえると、幸せです。	在住	30歳代
63	引地台公園に、ドッグランを作って欲しい。	在住	40歳代
64	『高齢者』への「健康」について、非常に充填をおかれているように感じます。働き盛りの納税者への「健康」も、健康診断だけでなく、病院のありかたを検討頂きたいです。まずは実態調査いただけないでしょうか。例えば中央林間駅周辺の内科、高齢者以外の発熱者は断られます。初診もダメ。発熱伴う度に4から5病院には電話をかけ、断られ、仕方なくお隣の市の病院へ行っています。そちらですと断られないので。知人全て口を揃えて言っておりますので、私見だけではないことをお伝えしておきます。 骨子に意見とはベクトル違うと思いますが、「健康」に重き置かれておりましたので、施策も大事ですが実態も知っていただきたく、ご意見しました。(できれば病院へ指導もいれて頂きたいです)	在住	40歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
65	「健幸」という表記はどこかのコンサルが入って作られたのでしょうか。怪しさが感じられないのでやめたほうが良いと思います。	在住	40歳代
66	・子育て王国を謳っているにも関わらず、こどもへの優先度が圧倒的に低いように感じます。そもそも、「新生児、未就学児」と、「義務教育世代、高等教育」を受ける分野を「こども・若者」と一括りにすべきではないです。子どもを1人でも多く産みやすく、育てやすい計画への重要度の向上を要望します。 ・分野横断で、デジタル活用の仕組みを導入してください。紙文化の撤廃(ペーパーレス)や、予約・申込・申請のデジタル活用(待ち時間レス)など、各分野での課題をデジタルで解決するチームの組成をお願いします。	在住	30歳代
67	土地利用の方向性について。大和駅から半径2キロほどの場所は市の施設が充実しているが、それ以外の地域は中途半端な施設が多いと感じます。例えば、図書館もシリウスはとても充実していますが、他の地域の図書館は規模が小さいです。大和市の地形は長いので、北側、南側に住んでいると大和の中心へは遠く、市の催しがあっても足を運びにくかったりします。同じ市民であっても受けられる恩恵にだいぶ差が出てくるように感じます。ですので、大和中心に施設を充実させるのではなく、北から南まで同じように充実した施設を設けてほしいです。そのほうが、市民みんなにとって住みやすい街になると思います。	在住	40歳代
68	中央林間に住み始めて14年になります。林間と言う名のとおりの森や中央林間自然の森、宇都宮記念公園周辺に残る緑地に魅せられて、結婚を機会に転入しまずは賃貸で子育てを始めて、子育てにも優しく緑も多く住む人も気持ちのよい人が多く、本当に暮らしやすい街だと感じ一軒家を購入しました。そうして暮らしている間にも同じように感じる人が多いのかどんどん人が増え、住宅が多くなり(自分もその恩恵に与る1人であることは承知しつつ)、庭木のある大きな家が無くなり細分化されコンクリートの駐車スペースのみの住宅ばかりになっていくこと、林が切り拓かれて同じく土の無い住宅地になっていくのを見るのを心苦しく感じるのがこの数年の率直な感想です。 ただ、最近建つ戸建てやマンションは植栽が多めなものも目立ってきており、土地柄によるニーズがそうさせるのか、市で何か取り組みがあるのかはわかりませんが、緑を求める人も多いのかもしれない、無くならないように考えてくれている人がいるのかもしれないと希望も抱いています。出来ることなら、現在あまり手の入っていない個人の所有する土地の林も市が積極的に管理するなり買い上げて森林公園的に利用(人が利用しやすい拓けた公園ではなく、生物多様性に配慮した形を取るのが望ましい)して、人口増加のままに宅地が増えて小さな緑地がポロポロと消えていくのを極力避けていただきたい。引っ越ししてきた頃は近所に居たはずのタヌキやアオダイショウ(ヘビ)、ヒキガエル、大きなキツツキのアオゲラなどはここ数年で周囲の小さな緑地の減少で居なくなってしまうました。地球規模の環境変動も一因であると感じますが、そんな時代だからこそこの緑の多い土地でそれらの生き物が人の隣でも生き続けられていたことを大事に思っ、この先の世代にも受け継いで行けるような街作りを心掛けていただければ幸いです。	在住	30歳代
69	これ以上の公園の自然破壊には反対します。現存の公園は残すべき。 水道料金、国保税の値上げに大反対します。賛成の議員の氏名を市民全員の目に行き届くように公表していただきたい。	在住	40歳代
70	健康診断を全額無料や予防接種を5類以降の全額負担軽減措置導入。	在住	50歳代
71	とても分かりやすくて良いと思いました。子育てしている私にとって、安心して遊べる公園や保育園の充実、小学生の放課後の過ごし方の充実さは多世代や子育て世代のつながりになると思います。でも、道が狭く安心して子どもを送り出せない。今後人口増加を目標にするのなら、道路の整備や横断歩道、信号機の見直しをしてほしいです。また、瀬谷区のアミューズメントパーク開発に向けての取り組みも入れてほしい。	在住	30歳代
72	鶴間から大和間、線路沿いの森林不法投棄や変質者等、通る度に気になる。 マンション等、増やして欲しい。物件が少ない為実際困っている。	在住	40歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
73	7-2都市環境整備について つきみ野駅周辺の利便性が大和市の中では著しく低い。 理由その1 駅前に駐輪場がない そのため駅前のローソンに自転車が毎日放置されており、景観を損ねているばかりか、転倒などによる事故リスクも懸念される。また、サイクルプールつきみ野に有料で止めて駅前までマナーを守って歩いていっている人との便益の差が著しい。これを解消するには、駅前に、サイクルプールつきみ野と同等の月極と時間貸の駐輪場を新たに移設整備し、つきみ野駅前の駐輪事情を直ちに改革願いたい。サイクルプールつきみ野の跡地は新たな住宅供与などの可能性が出来、人口増加、賑わいにも寄与する。 理由その2 のろっとバスの利便性 現在は運転間隔が80～90分間隔で1本と時刻が分かりづらい。またルートも定方寺より西側方面の住民が利用しやすいバス停がなく、不便を強いられている。これを解消するには、買物・通院など利用の多い時間帯に1時間毎に1本、乗務員確保や休憩のため昼前後の利用の少ない時間(12～13時台)はなくても良いと思われる。また通勤通学での利用も見込み、朝6時～夜9時くらいまで先に述べた閑散時間帯の休止以外は毎時1本が望ましい。ルートも定方寺を通る経路にすれば、浅間神社にも近く、春先の桜の木々の美しいシーズンなどには大和市の新たな観光スポットとしてもアピール出来る。ただし、道路が狭いため、やまとな号のようなワゴンタイプがよいと思われる。ルートとして、つきみ野駅→つきみ野メディカルセンター→ヤマト運輸前→定方寺→下村から既存のルート、これまでよりも利便性が高く、利用者増が見込めると推定される。 以上2点、さらなる大和市の発展のために骨子7-2の都市環境整備の中長期観点から提案させていただきます。	在住	40歳代
74	これからの高齢化・人口減少社会において各自治体が「医学的に健康な状態のみならず、地域において社会参加している」状態とし、それを健やかで幸せな生活と定義されていると思います。みんなつながる健幸都市大和を将来像に見据える中で、骨子案の中にもあるように生産年齢人口の減少や公共施設の老朽化が確実に見込まれる中、更に未曾有の災害も非常に高い確率で予想されているという現状で、財源確保や共助の要とも言うべき自治会(自主防災組織)活動の活性化をどう確実にやっていくのでしょうか?	在住	60歳代
75	中央林間に住んでいます。町として、大きすぎず、小さすぎず、調度良いと思っています。あまり変わって欲しくないです。鶴間自然の森や宇都宮記念公園、桜の散歩道など、今の状態で満足しています。 人との繋がりを持てるような町作りはとても大事なことだと認識します。	在住	40歳代
76	少子化対策を推し進めるのであれば、減税や給付金などで、世帯の「手取り」を増やす方法で対策をして欲しい。 対象世帯については、非課税世帯に限られることが多いが、世帯年収300万から600万位の世帯についても、昨今の物価高騰で生活が苦しくなり、子供に十分な食事、衣服、住居を与えられない状況なので、対象世帯を拡充した政策を是非実施してほしい。	在住	30歳代
77	骨子案の中に、下瀬谷で計画している花博の協力体制が見えない。花博では開催場所への人の運行が課題となっている。下瀬谷は大和市に隣接しているため、解決策の一つとして大和駅へのアクセスができれば良いと思っています。そのための道路の拡張などを横浜市と協議する必要があります。瀬谷駅、大和駅の二方向の動線は効果があると思います。そのことで大和駅周辺に集客も見込めます。是非検討してみてください。	在活動者	70歳代
78	骨子を少し読ませて頂きました。 そこで感じた事は大体のまちづくり等の目標は少しずつ実行されてきていると感じています。ですが、駅周辺の商業施設等が年季があるように感じられてしまう建物や需要性のないお店が多く出店させていて足を運んでの方があまり多くないと感じる事がしばしば見られます。また、バリアフリーなどの観点から見ても利用しにくいのかと感じる高齢者の方や身体の不自由な方を見かける事があるので街の施設や道路等の整備も順次必要だと考えます。 また緑地を大切に保存する事もこの大和市にとっては必要な事だと考えています。特に泉の森、引地台公園、ゆとりの森等は自然のこののみならずスポーツや文化を体験する事ができる貴重な大きな場所であると思うので中の施設の整備はもちろんのこと、公園内の道や椅子などの整備と共に自然を壊さない程度の清掃や剪定などが必要などではないでしょうか。 また大和市の人たちの活気が以前より少し感じられない事が増えてきていると思いますので小さい子供から学生、社会人、高齢者とそれぞれが住み良い大和そして、イベント事やキャンペーンで盛り上がっていきける大和市になるよう願っています。	在住	20歳代
79	現状維持を継続するとしか読み取れない。	在住	40歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
80	財政運営の方針について、限られた財源を有効に活用する方針が書かれており、これについては異議はありませんが、生産年齢人口の減少ありきだけではなく、市内の企業活動の活性化や、市内における労働人口の増加を目指す方針が一切ないのが残念です。将来的には消滅する自治体であると言ってるようなもので、攻めの姿勢が全体としては弱い。	在住	40歳代
81	土地利用の方向について、現在市の中核施設(市役所、市立病院、時間外診療所)は鶴間駅至近にあり、市の北部エリアに集中しています。今後、市の均衡発展を目指す観点から、中核施設のうち、市役所を移転させる事も盛り込んでいただきたいと思います。現在の市役所は耐震化されていますが、老朽化と狭隘化が進んでいると感じます。また、中央・南部エリアからはアクセスがしにくい立地です。中央エリア、特に大和駅周辺は、相鉄東急直通線で利便性が高まっています。このエリアに市役所が出来ることで、市全体からのアクセスがしやすくなり、市民の利便性が高まります。また、老朽化と狭隘化が解消され、市行政の効率化も図れるものと思います。	在住	30歳代
82	財政について疑問が残ります。人口推移では、今後も増加が見込まれ財源はむしろ増えていくと思いますが、それよりも非生産人口に対する支出が多いから「限られた財源を」という表現になっているのでしょうか。10年という中長期的な構想を打ち出すなら将来的投資を考えた財政出動を行うという考え方のほうがよいです。つまり現在の骨子では、ジリ貧感、現状維持という印象しか伝わってきません。「新しい財源をIT、デジタルを使って作り出す」くらいのビジョンが示されてほしいです。	在住	30歳代
83	「つながり」を施策の目的にしているが、つながりは幸福な生活の目的ではない。目的は多様でありつながりはその中の一部の者にとっての手段に過ぎない。これを目的に据えることは的外れであるに留まらず、これからの人口減少社会にとって害悪である。貴重な財政資源を有効に活用できるようお願いしたい。	在勤	60歳代
84	交通ルールがすごく悪い。そして車道の脇自転車道路のがたぼこがひどい。	在住	30歳代
85	道路が狭すぎます。なぜ土地が安いうちに拡張しなかったのか？中央林間8丁目に住んでいますますがすれ違いできないのに対面通行の道がほとんどです。なるべく広い道を選んで車を運転していますが運転していて見通し悪いし、運転していても向こうから車が来るのではないかと気にしながらの運転は楽しくないです。消防ハシゴ車は入ってこれないのではと不安です。期間は長くなると思いますが生活道路の拡張計画をお願いします。	在住	50歳代
86	大和駅から中央林間駅までとそれ以外の差がありすぎです。小学校も中学校も教室が足りなくて大変なのに同じような時期に大型マンションの誘致が多すぎです。学区もぐちゃぐちゃで困ります。林を潰してマンションを作る計画には開いた口が塞がらないです。せっかく緑があるのに。自然豊かじゃなくなります(中央林間です)。空き家問題もたくさんありますのでまずそちらを解決してほしいです。	在住	40歳代
87	あえてわざわざ健幸都市などとせずに、普通に健康都市の方が違和感がない様に思われる。わざわざ変換しなくても よろしいかと思うのは私だけなのだろうか？	在住	50歳代
88	計画の実現に不可欠な要素は”安全、安心”だと考えます。どんなに立派な公園づくり、都市開発を実現しても”夕方以降の外出や通学が不安””不審者が出没しやすい環境”であればそもそもの意味をなさないかと思います。都市づくり、計画において真剣に議論されたほうが良いかと思います。なお、関連しまして、小さなことですが過去に何度も”街灯設置”要望していますが、予算や規定を理由に全く取り合ってもらえません。おそらく、このようなことが多くあるのではないのでしょうか。	在住	50歳代
89	中央林間駅周辺の再開発が宙ぶらりん？頓挫？してるようなので進めて欲しい。特に、小田急線側のパチンコ店。路上タバコが常駐化、ずっといいお年の男性が屯していて治安も悪いと感じるので、生活・子育てに不安。喫煙禁止区域に定めてる意味なく、子どもたちが毎日副流煙を浴びて下校してる。立ち退かないのであれば、駅からの道路を閉鎖して駅通路から見えないように、空気が入らないようにして欲しい。	在住	30歳代
90	鶴間駅、南林間駅で毎年かなり件数飛び込みなどの人身事故があるので対策をしてほしい。	在住	30歳代
91	南のまちに在住、小学生の子どもがいる母です。同じ大和市内でも、南と北で学力の差、利便性、保護者(PTA)の学校と地域への関わり方、校舎などの老朽化など格差がとても大きく感じ、子育てしていく上で、どうしてこんなにも違うのだろうと、北のまちを羨ましく思うことも多々あります。同じ市内ならば、格差なくすべきではないでしょうか。	在住	30歳代
92	基本構想にインフラ面での考えがみえない。特に、人口増加と供に悪化している道路事情や街の景観に関する課題感がない。町を歩けば路側帯には雑草が生い茂り、隣接する市町と比較してみずぼらしさを感じるが、市として魅力のある環境整備は考えてないのか。	在住	60歳代
93	事故が多発している住宅街とかは、積極的にカーブミラー等設置してほしい。	在住	30歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
94	つながりを重点に考えるのは賛成です。また地域の軸の考え方など、個人的に新しい視点で良い方向性だと思いました。せっかく若い(年寄りでない)市長さんなので、前面にでてリーダーシップをとり、骨子に沿ったスローガンや行動で大和市民に号令をかけて、市の一体感や「私は大和市民だ!」という気運が高められたら理想的だと思いました。長期計画がんばりましょう!一市民として応援いたします^^	在住	40歳代
95	趣旨に合うかどうかわかりませんが小学校のプールの改修をしてほしい。子育て世帯が多い大和市で子供が割を食うのは意味が分からない。	在住	30歳代
96	特に無し	在住	40歳代
97	少子高齢化は理解でき、子育てに力を入れてるのも理解しますが、大和市はいつも先駆けがなく、足並みを揃える形と感じます。子供に力をいれるけど、学校がキャパオーバーになっているのを理解していません。高齢者、子育て世帯には恩恵がどの様にあるのか、また所得が高い世帯にはなんの恩恵もない事から、まだ東京都に住んだ方がいいと感じます。公園に力をいれるなら、合わせて災害にも力を入れて頂き、動物同伴の避難所や、公園にテントをはり、ペット専用の避難場所にするなど、何かに特化した施設ではなく、合わせ持った施設にするべきかと感じます。	在住	30歳代
98	監視カメラの設置推進をお願い致します。少なくとも通学路の設置をお願い致します。また、ボール遊びが出来る公園設置をお願い致します。北大和小学校の学童数が増加していますが安心して遊べる公園が足りません。	在住	60歳代
99	自転車安心して乗れる町にしてほしい。 自転車が左側通行がきちんと守れる道路整備してほしい。自転車道路整備ができれば、小学生も習い事やお友達と遊びやすく、高校生は通学しやすく、高齢者もゆっくり乗っていても危なくない。自転車が一番危険を感じる。	在住	40歳代
100	大和駅周辺に住んでいますが、二路線通っているにも関わらず駅ビルがあまり充実していないなと思っています。もう少し駅ビルの中に入る店舗の工夫を考慮していただけると嬉しいです。	在住	30歳代
101	中央林間小学校近辺は暗い。安全な通学路の確保を前提に街の改善を希望する。不審者対策、不審者以外にも地震等何かあってもすぐに駆け込める、集まれる場所がある、子供がご近所やお店とコミュニケーションがとれる体制(お店の方にとりあえず助けてを求められるなど)、不安要素を排除してほしい。	在住	30歳代
102	みんなが支え合うまちの基本計画に、共働き家庭の子どもの支援を取り入れて欲しい。保育園、病児保育、ファミリーサポートなどはあるがまだまだ不便で共働きの負担は大きい。今後小1の壁なども不安しかない。安心して子どもを預けて働ける環境づくりをお願いしたい。	在住	30歳代
103	先ず市役所を移築し、大和駅から徒歩圏内に作るべき。市立病院に関しては、もっと積極的に救急車医療に取り組んで土曜日診療を開始すべき。	在住	50歳代
104	子供の教育環境、安全、安心して暮らせる社会、物価高での補助、低所得者ばかりで少し多いだけで何もなくて同じように子育てしているのに同じようにして欲しいです。	在住	50歳代
105	桜ヶ丘小学校周辺に公園を作ってもらいたいです。桜ヶ丘コミュニティセンターの近くにあるとなお安心です。公園に行くためには中原街道と長後街道を渡る必要があり、何度も事故が起きています。よろしくお願いします。	在住	30歳代
106	通学路の安全強化(ガードレール、車がスピードを出しすぎない構造) 小中学校の門にガードマン配置	在住	30歳代
107	障害者福祉にもっと支援を! 近隣市町よりも、支援施設m事業所への補助金が少ないと言われています、それはヘルパー等を頼む時に、大和市は補助金が少ないので嫌がられることになります。是非比較を!	その他	60歳代
108	現時点の推計によれば人口は増加傾向にあるが、今後、日本全体のことを考えるとどうしても少子高齢化により過疎的な地域は発生すると見込まれる。 医療機関の整備も急務と考えらる状況かつ社会保障費用などの増加を考慮に入れながら、財源の効率的な活用(狭く深く)を望む。	在住	30歳代
109	お年寄りの、住みやすい街、子どもの未来のための、街作りせつなに、願います!それと、政令指定都市に負けない、独自の、街作りを!	在住	50歳代
110	高齢者より子供優先 ボランティアではなく正当報酬を	在住	30歳代

No	骨子(案)へのご意見 ※基本的に、原文のまま掲載	応募区分	年代
111	I. 基本構想の体系について 現総合計画に対して、新総合計画案においては、2. みんなが支えあうまち、4. 地域の絆が深く、多様性を認め合うまち、5. にぎわいを生み出すまちについては、それぞれ拡充、あるいは独立的に扱ったものとなっており、古谷田カラーをうかがえる内容となっており評価される。しかしながら、以下の点について再検討を要望します。 ①「5. にぎわいを生み出すまち」については、昨年9月の一般質問で経済活動の活性化を独立的に扱う質問内容に合致していると評価します。しかしながら、「にぎわいを生み出す」という表現は、受動的で平面的な印象です。よりポジティブに「活力と魅力に溢れたまち」とすることを提案します。 ②「活力と魅力に溢れたまち」において、「魅力的な都市空間」を項目に加えることを提案します。 II. 中央のまちについて 現総合計画;大和駅周辺地域に集積する商業・業務機能や、教育及び文化芸術施設、プロムナードなどを活用しながら、中心市街地のにぎわいがあふれる便利で魅力のあるまちづくりを進めます。 新総合計画案;大和駅周辺地域に集積する商業・業務機能や、教育及び文化芸術施設などを生かしながら、活力とにぎわいがあふれ、居心地が良く歩きたくなる街づくりを進める。となっています。以上について以下の点を検討するよう要望します。 改正の考え方 ①大和駅周辺を、大和市の地域振興のために、非常に重要な地域であるとの位置付けを明確化。さらに高次都市機能の表現も追加。 ②民間開発誘導による、より一層の業務、商業機能の周世kいを目指すニュアンスを盛り込む。 ③以上の取組により、活力と賑わいと魅力溢れた街づくりを進める。 III. 大和市南部地域の活性化について 大和市の都市構造として、長い間南北格差の是正が叫ばれていた。しかしながら、高座渋谷は区画整理事業が進展したにも関わらず、まちが活性化しているとは言い難い。また、桜ヶ丘駅前も大和8駅の中で最も寂しいと言われており、地域全体でも活性化していない。しかし桜ヶ丘は7ha以上の鹿島建設用地もあり、地域活性化に繋がる土地活用への期待もある。以上の点を考えあわせ、桜ヶ丘、高座渋谷の南部地域のまちづくり、地域活性化に従来以上に取り組むニュアンスを盛り込んでいただきたい。	在住	70歳代